

## <第18回鳥取県少年サッカーU-11大会開催要項>

### ◆開催要項

---

#### 1：趣旨

サッカーの楽しさをさらに深め、試合を通じてさらなる技術の向上とフェアプレーの精神を養い、健全な心身の育成・発達を図ることを目的とした大会である。

#### 2：主催

(一財)鳥取県サッカー協会

#### 3：主管

(一財)鳥取県サッカー協会第4種委員会

#### 4：後援

鳥取県教育委員会

#### 5：協賛

モルテン

#### 6：期日

2015年3月7日(土) 4チームによる予選リーグ  
3月8日(日) 各組1、2位による 決勝トーナメント

#### <東部予選>

2014年12月 6日(土)、7日(日)

#### 7：会場

湯梨浜町東郷運動公園多目的広場他

#### <東部予選>

**CWSP 球技場**

#### 8：参加資格

- ・日本サッカー協会第4種及び女子(小学生)加盟登録した団体。
- ・小学校5年生以下の男子、女子。
- ・各地区予選を勝ち抜いた16チーム  
(東部6、中部4、西部6)

#### 9：チーム編成と条件

D1：チームの編成は、監督1名、コーチ2名 選手16名以上24名以内とする。

- ・ベンチに入れる人数は、監督1名、コーチ2名、選手16名とする。
- ・選手は健康であり、かつ保護者の同意のあった選手に限る。
- ・参加全チームは傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に必ず加入していること。

D2：チームの編成は、監督1名、コーチ2名 選手8名以上24名以内とする。

## 10：表彰

優勝チーム	トロフィー	賞状
2位チーム	楯	賞状
3位チーム	楯	賞状

## 11：競技規則

- ・最新の（公財）日本サッカー協会8人制競技規則による。  
選手証は、必ず写真を貼って持参すること。  
（選手証もしくは仮選手証がない場合は出場できません。）
- \*仮選手証についてはWeb登録した画面のイメージを印刷したものでなく  
県協会より払い込みが完了した文書や証明書が必要です。
- ・ベンチ内では、監督・コーチの中で1名以上は、ライセンスカードを首から  
かけて審判、役員に見えるようにしてください。
- ・地区代表を勝ち抜いた16チームによる予選リーグ、決勝トーナメントで  
行う。
- ・競技時間はすべて12分×3ピリオドとし、第2と第3ピリオド間のインタ  
ーバルは、5分とする。
- ・第3ピリオドは約6分が経過したところでエンドを交替する。

### <東部予選>

**D2については、参加チーム数、日程により競技時間を後日、決定します。**

- ・予選リーグは勝ち点制（勝ち3点、負け0点）を取る。36分で勝敗が決  
しないときはPK戦（3人ずつ）をする（PK勝ち2点、PK負け1点）。  
それでも決しないときは、得失点差、総得点、抽選の順に順位を決定する。  
決勝トーナメントについては、PK戦（3人ずつ）によって次に進出する  
チームを決める。  
準決勝、3位決定戦、決勝戦については、6分間の延長（前半、後半）を  
行い、尚決しない時はPK戦によって次に進出するチームを決める。
- ・第1ピリオド、第2ピリオドは、選手8名がすぐに交代（GKは必ず）。  
第3ピリオドは16人の中から自由な交代による。選手は3ピリオド続け  
てプレーしてはいけない。（延長戦は、これに限らない）
- \*極端な身体の不調の場合を除き、全員が必ず1ピリオド以上2ピリオド以  
内プレーをするものとする。
- \*延長戦においては、前半と後半に8名（GKを含む）交代を行う。
- ・ボールは、少年用ボールとし、ゴールは原則として少年用とする。  
（215cm×500cm）
- ・出場するチームは必ず濃淡2着の背番号のあるユニホームを用意すること。  
（GKもGK用2着、フィールドユニホーム2着が必要です。）
- ・警告累積2回、及び退場を受けると次の試合には出場停止。警告・退場の  
内容によっては、規律委員会を開き、その後の処分を決定する。ただし、  
退場処分になった場合、他の選手を補充し常に8人でプレーする。
- ・金属底ポイント・取り替え式ポイント及び主審が危険と認めたスパイクは  
使用してはならない。（危険と認めたスパイクとは、プラスチック底でも  
角が尖ったりしているものをいう。）

少年チームとしての正しいマナーを身につけて参加すること（少年サッカー選手として、少年チームの監督としてのマナー、正しい応援マナー。等）サポーター（保護者等）の暴言等においても監督は退席をする。

1 2 : 監督会議および開会式

監督会議を9時より、開会式を9時30分より湯梨浜町東郷運動公園多目的広場本部で行う。  
全チーム監督、選手とも必ず出席のこと。

1 3 : 試合日程及び審判について 別紙試合日程の通り。(後日お送りします。)

審判については、必ずしも予定どおりになりませんが御協力ください。

1 4 : 問い合わせ先

☆東部地区委員長

小林 慎太郎

東部地区申し込み先 事務局 柏木 大作

1 5 : その他

上位2チームをJA全農杯チビリンピック 2015 小学生8人制サッカー in 中国  
兼 第13回中国ユースサッカーU-12 ジョイフル大会に鳥取県代表として推薦する。(2015年4月11日(土)、12日(日) 島根県開催です)

◆鳥取県として

1-各地区の登録時点で16名以上の登録をしたチームは中国大会出場資格のあるD(ディビジョン)1の参加資格が与えられる。

(16名以上の選手がいないときは、D(ディビジョン)2の部に、8人以上の登録で参加できる(地区大会のみ)。試合の成立は6名以上とする。  
人数のそろわないチーム同士による合同チームを認める。)

<東部予選>

D1、D2については、上記のとおりとします。

各チームD1は1チームとします。

但し、同一チームで、D1 1チーム、D2 1チームの参加も認めます。

2-大会当日に、極端な身体の不調、怪我等の場合で、当日14名より少なくなったチームは、棄権となりますが、試合はオープンになります。試合の途中で少なくなったときは、欠員で行う。次の試合までに、14人以上にならなかったときは、棄権とする。リーグ戦に於いては、棄権したチームのすべての記録を白紙に戻す。

3-14人の時1P、2Pは、(8人-6人、6人-8人、7人-7人、監督の裁量で。)

15人の時は、1P、2Pは(8人-7人、7人-8人、監督の裁量で)

3Pは8人。

4-第1ピリオド以上、2ピリオド以内のプレーとは、12分以上24分以内の範囲とし確認がしにくいので、ベンチに入る人数を16名にする。試合の途中で怪我や退場処分、突然の体調不良による選手の補充については、審判の判断により補充

することが出来る。

試合中の怪我により第1、2ピリオドが最後までプレー出来なかった選手が、ベンチで回復し、第3ピリオドに出場するのは可能である。

(出来るだけ全員がプレーするのが望ましい。)

5－選手の2ピリオド以上(24分以上)のプレー、戦術による第1、2ピリオドの悪質な選手交代が発覚した場合、規律委員会を開催し、場合によっては、そのチーム監督は全日本少年サッカー大会にそのチーム監督として大会出場することが出来ない。

6－PK戦は最終ピリオドのピッチにいる選手8名で行う。

(ベンチの選手はPK戦に参加出来ない)

7－試合ごとに、エントリー者を替えてよい。

自チームの第1試合が始まるまでに登録選手の入れ替え、追加はOKとする。

*\*選手も指導者、サポーターもフェアプレーの精神を養い、実践しましょう。*